



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月6日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4923 URL <https://www.cota.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）小田 博英
問合せ先責任者（役職名）取締役広報・IR部長（氏名）西村 充弘 TEL (0774) 44-4923
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	3,594	4.9	198	△23.8	186	△31.3	122	△34.6
2024年3月期中間期	3,427	1.3	260	△25.5	271	△24.9	186	△29.9

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	4.36	—
2024年3月期中間期	6.61	—

（注） 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	12,552	10,027	79.9
2024年3月期	14,801	11,039	74.6

（参考） 自己資本 2025年3月期中間期 10,027百万円 2024年3月期 11,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

（注） 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,660	5.7	1,972	2.6	1,985	1.6	1,380	2.3	48.88

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	32,934,663株	2024年3月期	32,934,663株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	5,183,892株	2024年3月期	4,699,723株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	27,990,776株	2024年3月期中間期	28,240,808株

(注) 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間貸借対照表	6
(2) 中間損益計算書	7
中間会計期間	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. その他	10
(1) 役員の変動	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられました。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰や円安に伴う物価上昇による個人消費への影響が懸念される等、先行きは不透明な状況が続いております。

美容業界におきましては、美容室経営の二極化が進んでおり、多くの美容室では来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては「女性は髪からもっと美しくなれる」というコーポレートスローガンのもと、美容室でのカウンセリングを通じて、来店客に対して付加価値の高いヘアケア提案を行いました。特に、ヘアケアの基本であるシャンプー及びトリートメントの主力ブランド「コタ アイ ケア」を中心に美容室での販売を推進することで、多くの「女性のキレイ」を髪から応援しております。また、創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」と「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、2023年5月に発売した「コタエイジング バウンスアップ」の反動減があったものの、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」の販売が堅調に推移したことに加え、2024年5月に発売したカラー剤の新製品「コタカラー ニュート グレイ」の推進や2024年8月に発売した整髪料の新製品「コタクチュール ベース」の販売が好調であったことから、前中間会計期間の実績を上回りました。

また、売上原価につきましては増収により増加し、販売費及び一般管理費につきましては、人件費等の増加により、前中間会計期間の実績を上回りました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は3,594百万円(前中間会計期間比4.9%増)、営業利益は198百万円(前中間会計期間比23.8%減)、経常利益は186百万円(前中間会計期間比31.3%減)、中間純利益は122百万円(前中間会計期間比34.6%減)となりました。以下のグラフのとおり、中間期における業績は、コロナ禍の影響を大きく受けた第42期中間期や、トイレタリーのトップブランド「コタクチュール」を発売した第43期中間期等、各期によって増減しておりますが、当社は営業戦略上、売上高及び各利益の構成比率は下半期のウエイトが大きくなっているため、通期に対する影響額は小さいものと判断しております。

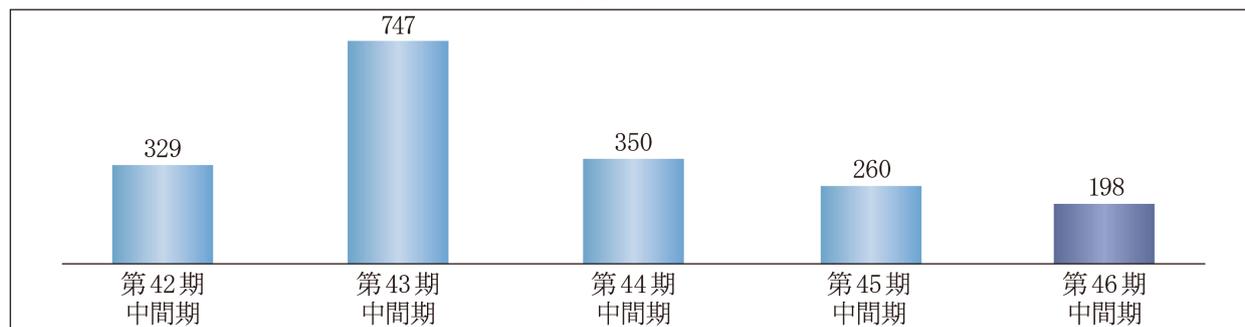
売上高

(単位:百万円)



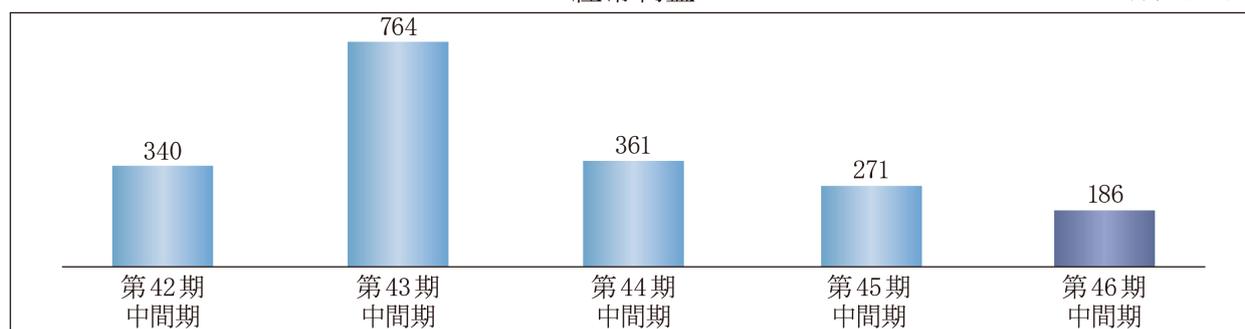
営業利益

(単位:百万円)



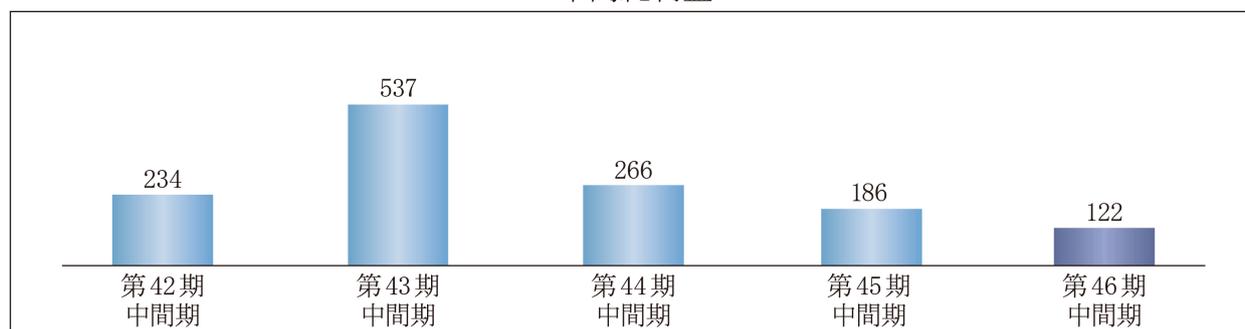
経常利益

(単位:百万円)



中間純利益

(単位:百万円)



「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第43期の期首から適用しており、第42期中間期については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

なお、当社は美容室向けの頭髪用化粧品及び医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は以下のとおりであります。

区分	前中間会計期間		当中間会計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	2,549	71.1	2,494	65.6	△55	△2.2
整髪料	665	18.6	908	23.9	242	36.5
カラー剤	119	3.3	143	3.8	24	20.9
育毛剤	156	4.3	163	4.3	7	4.6
パーマ剤	45	1.3	44	1.2	△1	△2.2
その他	51	1.4	46	1.2	△4	△9.7
小計	3,587	100.0	3,801	100.0	213	6.0
売上高控除	△159	—	△206	—	△46	—
合計	3,427	—	3,594	—	166	4.9

当社は、2つのミッションである「世の中の美容室を一軒でも多く近代経営に導く」と「世の中の女性を一人でも多く髪から美しくする」を実現するために、トイレタリーの販売を中心とした「店販」を推進しながら、美容室の経営改善システムである「旬報店システム」を軸とした美容室の経営コンサルティング(コンサルティング・セールス)を展開することで、成長・繁栄につながるさまざまな提案を美容室に行っております。

そのため売上高に占めるトイレタリーの割合は、同業他社に比べ高いことが特徴であります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当中間会計期間の総資産は、前事業年度から2,248百万円減少し、12,552百万円となりました。

主な要因としては、商品及び製品が502百万円増加し、現金及び預金が2,148百万円、受取手形及び売掛金が675百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間の負債は、前事業年度から1,236百万円減少し、2,524百万円となりました。

主な要因としては、未払金が682百万円、未払法人税等が523百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間の純資産は、前事業年度から1,012百万円減少し、10,027百万円となりました。

主な要因としては、自己株式が621百万円増加し、利益剰余金が391百万円減少したことによるものであります。

なお、自己資本比率は、79.9%（前事業年度74.6%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末より2,148百万円減少し、1,546百万円（前中間会計期間比281百万円減）となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、808百万円（前中間会計期間は62百万円の増加）となりました。

収入の主な要因としては、税引前中間純利益186百万円、売上債権の減少675百万円によるものであります。

支出の主な要因としては、棚卸資産の増加542百万円、法人税等の支払額547百万円及びその他の支出733百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、206百万円（前中間会計期間は977百万円の減少）となりました。

収入の主な要因としては、定期預金の払戻による収入2,000百万円によるものであります。

支出の主な要因としては、定期預金の預入による支出2,000百万円、有形固定資産の取得による支出189百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、1,133百万円（前中間会計期間は480百万円の減少）となりました。

支出の主な要因としては、自己株式取得による支出621百万円、配当金の支払額512百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は営業戦略上、売上高及び各利益の構成比率は下半期のウエイトが大きくなっております。

第3四半期以降につきましては、美容業界の繁忙期と重なることに加え、11月から12月にかけて当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催しており、「コタ アイ ケア」ならびに「コタクチュール」を中心としたトイレタリーの需要増加を見込む一方で、人件費を中心とした販売費及び一般管理費の増加を見込んでいることから、現時点において2024年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,694,622	3,546,614
受取手形及び売掛金	1,391,017	715,558
商品及び製品	1,246,956	1,748,957
仕掛品	58,455	61,323
原材料及び貯蔵品	475,119	512,316
その他	45,959	92,868
貸倒引当金	△176	△204
流動資産合計	8,911,954	6,677,435
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,521,524	2,464,529
土地	1,950,625	1,958,190
その他(純額)	526,994	578,305
有形固定資産合計	4,999,144	5,001,024
無形固定資産	72,815	69,404
投資その他の資産	817,132	804,678
固定資産合計	5,889,092	5,875,107
資産合計	14,801,046	12,552,542
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,027	186,894
未払金	825,981	143,825
未払法人税等	586,750	63,195
賞与引当金	277,749	291,261
役員賞与引当金	—	17,370
その他	453,521	442,118
流動負債合計	2,370,029	1,144,664
固定負債		
退職給付引当金	214,801	189,414
役員退職慰労引当金	745,260	750,764
資産除去債務	260,669	260,913
長期預り保証金	170,300	179,100
固定負債合計	1,391,031	1,380,191
負債合計	3,761,060	2,524,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	642,358	642,421
利益剰余金	13,198,390	12,807,178
自己株式	△3,189,092	△3,810,228
株主資本合計	11,039,456	10,027,171
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	528	514
評価・換算差額等合計	528	514
純資産合計	11,039,985	10,027,686
負債純資産合計	14,801,046	12,552,542

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,427,881	3,594,477
売上原価	957,947	1,058,340
売上総利益	2,469,934	2,536,137
販売費及び一般管理費	2,209,088	2,337,381
営業利益	260,846	198,756
営業外収益		
受取利息	1,133	1,791
受取配当金	1,377	2,555
業務受託料	4,800	4,800
その他	6,471	6,056
営業外収益合計	13,782	15,202
営業外費用		
支払手数料	—	23,198
固定資産除却損	3,094	3,398
その他	195	881
営業外費用合計	3,290	27,478
経常利益	271,338	186,480
税引前中間純利益	271,338	186,480
法人税、住民税及び事業税	73,675	42,819
法人税等調整額	10,887	21,510
法人税等合計	84,562	64,330
中間純利益	186,776	122,150

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	271,338	186,480
減価償却費	154,783	181,315
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△56	27
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,015	13,511
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	20,152	17,370
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,308	△25,387
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	32,021	5,504
受取利息及び受取配当金	△2,511	△4,346
売上債権の増減額(△は増加)	873,283	675,459
棚卸資産の増減額(△は増加)	△400,307	△542,067
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,346	△39,132
その他	△385,038	△733,496
小計	563,026	△264,761
利息及び配当金の受取額	1,617	3,930
法人税等の支払額	△502,406	△547,171
補助金の受取額	400	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,637	△808,003
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,000,000
定期預金の払戻による収入	—	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,069,915	△189,160
無形固定資産の取得による支出	△8,450	△7,619
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
その他	783	△9,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△977,581	△206,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△15,023	△621,190
自己株式の売却による収入	1	117
配当金の支払額	△465,943	△512,715
財務活動によるキャッシュ・フロー	△480,966	△1,133,788
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,395,909	△2,148,008
現金及び現金同等物の期首残高	3,224,210	3,694,622
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,828,300	1,546,614

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向けの頭髪用化粧品及び医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(1) 役員の変動

①代表者の変動

該当事項はありません。

②その他役員の変動

1. 新任役員

役職名	氏名	生年月日	略歴		任期	所有株式数 (株)	就任年月日
社外監査役	田邊 宏嗣	1973年4月27日	1998年4月	三菱電機(株)入社	(注)2	—	2024年10月31日
			2002年10月	中央青山監査法人(後のみずず監査法人)入所			
			2006年5月	公認会計士登録			
			2006年10月	村田公認会計士事務所入所(現任)			
			2009年12月	田邊公認会計士事務所開設			
			2015年6月	(株)ユニオンシンク監査役(現任)			
			2016年2月	税理士登録			
			2024年6月	(株)アルテコ監査役(現任)			
			2024年10月	当社社外監査役(現任)			

(注) 1 監査役田邊宏嗣は、社外監査役であります。

2 退任した監査役の補欠として就任したため、任期は前任者の任期満了の時である2025年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。

2. 退任役員

役職名	氏名	退任年月日
常勤監査役	瀧村 明泰	2024年10月31日

3. 役職の変動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
常勤社外監査役	社外監査役	村田 智之	2024年10月31日